
情報 I No. 03

問題解決

年	1	組		番		名前	
---	---	---	--	---	--	----	--

第1章 情報社会の問題解決 3. 問題解決の考え方

【実習1】 問題解決の考え方を「よく飛ぶ紙飛行機を制作」を通して、体験的に学ぼう。

1. 問題の明確化	理想：遠くまで飛ぶ紙飛行機を作りたい ↓ 理想と現実のギャップ 現実：今までの方法で紙飛行機を作ってもうまく飛ばない
-----------	---

2. 問題の整理と分析	紙飛行機をよく飛ばすには・・・ ①よく飛ぶ紙飛行機の折り方があるはず ②よく飛ぶ飛ばし方があるはず
-------------	---

作業1 よく飛ぶ紙飛行機の作り方・飛ばし方を自分で調べて記入しよう。

3. 解決案の立案	①よく飛ぶ紙飛行機の作り方	②よく飛ぶ飛ばし方
	・調べたサイト、内容をメモしよう	・調べた内容をメモしよう

作業2 グループで相談して、グループで制作する紙飛行機を決定する。

4. 実行	作業3 A4のコピー用紙で実際に制作し、飛ばし方も工夫して実行してみる
-------	-------------------------------------

作業4 3回試行し、飛ばしてみた結果（滞空時間、距離、飛び方）を下に記録する

5. 評価	①1回目 滞空時間（ ）秒	②2回目 滞空時間（ ）秒	③3回目 滞空時間（ ）秒

作業5 結果から改善すべきことを記録する

6. 共有改善	
---------	--

【知識の整理】

- ① () =理想と現実のギャップのこと
↓ (例) 体重が気になるのであと 5kg 減らしたい
() =不便な事柄や目標や課題に対して解決策を考え実現すること
(例) 12 時間ダイエット、毎日 6000 歩歩く、炭水化物を減らす、水泳・・・

②よい問題解決の流れの例

- 1) 問題と目標の明確化 = 現状を把握する
2) 問題の整理と分析 = Web サイトなどで情報を収集し分析する
3) 解決策の立案 = 集めた情報から解決策を立案する
4) 実行 = 解決策を実行する
5) 評価 = 解決策が効果があったか評価する
6) 共有 = うまくいったことを共有し、次の問題解決に役立てる

③問題解決の流れの例 ()

- 1) Plan (計画) → 2) Do (実行) → 3) Check (評価) → 4) Act (改善) → Plan・・・

④問題解決で利用する手法 (教 P48-55)

- 1) () =問題の全体像を明らかにしたり、解決策を考えたりするときの手法
4つの原則・他の人の発言を批判しない ・遠慮しないで自由に発言する
・できるだけたくさんの提案を出す ・他の人の発言に便乗した改善も歓迎する
2) () =物事を分解・整理する手法

【考えよう】身近な問題解決の例を考えて書きましょう。☞2つ以上箇条書きで

【振り返り】No.3の実習・知識で知ったこと、考えたこと、思ったことを書きましょう。

☞3つ以上箇条書きで

